

きもの便り 秋号

【発行】美保姿きもの総合学院 【ホームページ】<http://www.miho-sugata.com/>

No.0004 美しく保つ姿で、和の心を



「寒露」

(澄みたる朝 “かんろ”)

舞台そでに夏が去り、舞台中央には「秋」が長雨を連れて訪れていました。

「彼岸」を境にすべてのものが切り替わることを実感させるような冷たい雨が、あともう少しだけ葉に水分を供給し続ける木々を湿らせてゆきます。

種まきの「春彼岸」と、収穫の「秋彼岸」。

雪解け水の希望が2月の「雨水」だとしたら、どこかもの悲しさを伴う10月の「寒露」は物思いのひと時を与えてくれるものなのかもしれません。そして、春のやわらかさとはまるで対照的な秋の陰（かげ）りが、小さな痛みのように胸を走り抜けていくようにも思えてしまいます・・・。

ご先祖様を敬い感謝する祈りの行事でもある「彼岸」は、神仏ともに祀る風土の日本では、太陽神を信仰する「日願」にも通じているとも言われるようです。

お彼岸のお供え物として定番の「おはぎ」や「ぼたもち」は、適度につぶされたもち米とうるち米のバランスが絶妙な季節の食べ物ですが、思いがけない幸運が訪れることを「ぼたもち」と組み合わせて「棚からぼたもち」と最初に表現されたのは、一体どなたなのでしょうね。

厳しい夏を精一杯努力して過ごした者たちに、ささやかな幸運がきつとあるのだと思えるような・・・そんな他力本願も時には許されるような気がいたします。

文：堀内利子

知っておきたい着物の知識

■訪問着

結婚披露宴から、パーティー、卒入学式までお召しになれる訪問着は、さまざまな行事で活躍します。

■付下げ

パーティーや観劇、食事会、ちょっとした会の集まりなど、訪問着では仰々しいときに、使い勝手がよいお着物です。訪問着が大きな絵柄になっているのに比べ付下げは反物から作ります。

■色無地

五つ紋、三つ紋、一つ紋と、礼服としての格を変化させることができます。帯を自由に取り合わせて、変化を楽しんだり、色無地の地紋も様々です。組み合わせで、慶弔を選ばない組み合わせも可能です。



出張着付けごあんない

振袖 8000円 留袖・訪問着 6000円
出張費は500円から10kmごと
※税別 ※お二人以上の場合は割引
あります。お問い合わせは、フリー
ダイヤル 0120-35-8035 美保姿
きもの総合学院/長野校まで

■編集後記■

先日、善光寺さんで七五三のお参りに行く家族連れを見かけました。お孫さんの帯を直されていたお祖母様の嬉しそうな笑顔が印象的で、こちらも心が暖かくなりました。着物姿のお母様にとってもお祖母様もそろってのお祝い事は心強かったろうと思います。着なれないと引っ張る場所ひとつで、“びっ”となったり、ならなかったりしますものね。

さてさて、美保姿きもの総合学院では、着せ付けも承っております。忙しいお母様にも”出張着付け”で、ハレの日を、ぐっと華やかお過ごしいただけます。着くずれしないポイントも一緒にご案内していますので、久しぶりに袖を通される方にもプロのアドバイスが入り、安心です。(f 塚)